

文学部歴史文化学科 カリキュラムマップ・科目ナンバリング

文学部歴史文化学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連						
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	歴史資料の特性や扱い方に関する知識を有し、資料を解読して情報を正しく接合させ、合理的推理に基づいて歴史像を構築することができる。	古代から近現代に至る日本の歴史文化の変遷について、正確に理解し、説明することができる。	日本の伝統的な習俗や社会事象について、その起源や意義を理解し、説明することができる。	地域の伝統的文化遺産や歴史的個性に深い敬意を持ち、的確な判断のもとにその保存や活用につながる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協力を進めることができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真実を追究するために自律的に研究・調査できるための資質を身につけている。	
学科基礎科目 (入門科目)									
歴史文化入門	A5-JPH-101-J	過去の史実を、文献史学・考古学・民俗学でどう明らかにしているか、これら諸学問の方法と特長を理解することができる。	◎	○	○				
現代と歴史文化	A5-HSG-101-J	歴史文化に関わるこんにちにおける活動の広がり・諸相を知り、問題のあり方と今後の新たな展開の可能性を考察することができる。		○		○		◎	
古文書読解入門	A5-JPH-102-J	くずし字で書かれた文書が読めて意味・内容を理解でき、歴史学の基礎知識も修得できる。	◎			○		○	
学科基礎科目									
宗教学概論	A5-RES-101-J	世界の宗教を、共通性・多様性・人間の信念という観点から明晰に認識できる視点が得られる。			○	○			
民俗学概論	A5-CAN-101-J	身近な伝統的習俗や社会事象について、その動機(起源)や意義を正しく説明できる。			◎	○			
古代中世史概説	A5-JPH-103-J	日本の古代から中世までの歴史文化の変遷のあらましを学びおおよその推移と、時代ごとの社会のしくみ・特徴について正しく説明できる。		◎					
近世史概説	A5-JPH-104-J	織豊政権期から江戸幕府の終焉までの社会構築の歴史的背景について、多角的に理解し、説明ができる。		◎					
近現代史概説	A5-JPH-105-J	明治維新时期から高度成長期までの歴史文化の変遷を学び、推移と時代ごとの政治や社会のしくみ・特徴について説明できる。		◎					
キャリアデザイン	A5-CAE-101-J	文学部での学びが、現実社会の諸問題の解決に貢献できることを理解し、文学部で学ぶことの強みを説明することができる。						◎	
踏査基礎演習	A5-SEM-201-J	特定の地域を踏査し、当該地域の歴史文化に関する情報をもとに論理的考察に基づいてまとめ、報告することができる。	◎			○	◎	○	
考古学概論	A5-ARC-101-J	考古学の方法や概念・理論・用語などの基礎を理解することができる。	○			○			
東洋史概説	A5-HAA-201-J	世界史のなかでの位置付けを認識し、幅広い観点から歴史事実を再検討することにより、一連の問題意識のもとに東洋史の概略を理解できる。		○					
西洋史概説	A5-HEA-201-J	西洋世界に対して様々な問いを投げかけながら、一連の問題意識のもとに西洋史の概略を理解できる。		○					
社会学概論	A5-SOC-201-J	東アジアの現代諸事象の特異な展開と特質から、疑問を整理し解消する過程をとらえて、社会学的手法と感覚を身につけることができる。			○				
学科基幹科目									
卒業研究ゼミナールⅠ	A5-THE-301-J	対象から問題を見出し、解決のために自ら調査し、解決策を探り、それを文章(論文または制作物に対する解説)によって表現するという一連の学問的経験が得られる。	◎			○	◎	◎	
卒業研究ゼミナールⅡ	A5-THE-401-J	対象から問題を見出し、解決のために自ら調査し、解決策を探り、それを文章(論文または制作物に対する解説)によって表現するという一連の学問的経験が得られる。	◎			○	◎	◎	
古代史料講読	A5-JPH-201-J	日本古代の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○	
中世史料講読	A5-JPH-202-J	日本中世の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○	
織豊期史料講読Ⅰ	A5-JPH-203-J	織豊期の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○	
織豊期史料講読Ⅱ	A5-JPH-301-J	織豊期の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○	
近世史料講読Ⅰ	A5-JPH-204-J	江戸時代の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○	
近世史料講読Ⅱ	A5-JPH-302-J	江戸時代の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○	

文学部歴史文化学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連					
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	歴史資料の特性や扱い方に関する知識を有し、資料を解読して情報を正しく接合せ、合理的推理に基づいて歴史像を構築することができる。	古代から近代に至る日本の歴史文化の変遷について、正確に理解し、説明することができる。	日本の伝統的な習俗や社会事象について、その起源や意義を理解し、説明することができる。	地域の伝統的文化遺産や歴史的個性に深い敬意を持ち、確かな判断のもとにその保存や活用 に貢献できる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を追求するために自律的・創造的に研究・調査できるための資質を身につけている。
近代史料講読Ⅰ	A5-JPH-205-J	日本近代の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○
近代史料講読Ⅱ	A5-JPH-303-J	日本近代の古文書や記録を読み解くことにより、当該期史料の特徴や時代特有の表現等を理解することができる。	◎			○		○
現代史料講読	A5-JPH-206-J	中心史料に加え関連史料との比較検討や、そこから論点を提示する作業を通し、政治史研究の方法論を修得する。	◎			○		○
宗教史料講読Ⅰ	A5-RES-201-J	日本の宗教・思想史に関する史料を読み解き、当時の人々と同じ目線に立ち、宗教とは何かを知ることができる。	◎			○		○
宗教史料講読Ⅱ	A5-RES-301-J	日本の宗教・思想史に関する史料を読み解き、当時の人々と同じ目線に立ち、宗教とは何かを知ることができる。	◎			○		○
民俗資料講読Ⅰ	A5-CAN-201-J	日本の民俗に関する調査報告・民俗誌などを読み解くことにより、民俗語彙や民俗学特有の用語等を理解することができる。	◎			○		
民俗資料講読Ⅱ	A5-CAN-301-J	日本の民俗に関する調査報告・民俗誌などを読み解くことにより、民俗語彙や民俗学特有の用語等を理解することができる。	◎			○		
日本思想史	A5-HIT-201-J	江戸時代の人々の意識・思想を、書物・出版を通し読み解くことができる。		○				
祭祀と信仰	A5-RES-202-J	世界各地の様々な宗教儀礼を学び、祭祀・宗教教義や思想・文化・慣習などを理解することができる。			◎			
考古学調査法	A5-ARC-201-J	邪馬台国の所在論争を通じて、考古学の方法論を理解することができる。	◎			○		○
古文書学	A5-JPH-106-J	日本前近代の古文書の様式を理解するとともに、語彙や文体・読み方・形状などが習得できる。	◎					○
標準古文書読解法	A5-JPH-107-J	歴史資料について、さまざまな形状の資料の存在を知り、これらを調査するにあたっての必要な基本知識を得ることができる。	◎			◎		○
金石文調査法	A5-JPH-108-J	この科目では、紙以外のさまざまな伝世品歴史資料を知り、その調査、記録の方法を学ぶ(考古学が対象とする土中、地表面から採集された遺物を除く)。	◎			◎		○
尾張三河戦国史論	A5-JPH-207-J	15世紀前半の織田一族・松平一族の動向を追うことにより、地域権力創出過程の特質を理解することができる。		◎		◎		
尾張三河と織豊政権	A5-JPH-208-J	地方的観点及び全国的な動向をふまえた尾張三河の特質や、織豊政権の果たした役割や歴史的意義を理解することができる。		◎		◎		
近世史特論	A5-JPH-209-J	日本近世史における郷土の歴史的特徴や現代に継承されていると伝統文化への理解を深めることができる。		◎		○		
近代史特論	A5-JPH-210-J	近代の日本の政治と社会の研究課題を理解し、日本の近代史への理解を深めることができる。		◎		○		
郷土の民俗特論	A5-CAN-202-J	愛知県下における信仰の広まりに伴う様々な民俗事象について、歴史的意義を理解することができる。			◎	◎		
宗教文化特論	A5-RES-203-J	日本史上の時代や社会の激動期における宗教動向を明らかにし、歴史的意義を理解することができる。		○	○			
学科展開科目								
日本文化史	A5-JPH-109-J	日本の文化事象を通じて、古代以来展開した、さまざまな思想・宗教の世界観を理解することができる。		○	○			
文化人類学	A5-CAN-102-J	沖縄の祭祀芸能や文学の世界にふれ、文化人類学の方法を通して沖縄から日本文化を見る視座が養われる。			◎			
近代社会の形成と東アジア	A5-HAA-101-J	東アジアの近代化が直面した固有の課題と近代化の筋道を理解することができる。		○				
民俗芸能論	A5-CAN-103-J	日本の祭りや民俗芸能を通して、日本人および自分と伝統的社会とのつながりを考えることができるようになる。			◎	○		
歴史地理学	A5-HUG-201-J	歴史地理学の研究手法を理解し、地域の特色や問題について、適切なキーワードを用いて歴史的積み重ねの過程として説明することができる。	○			○		
戦国織豊城館論	A5-JPH-211-J	城館が戦国織豊期社会の変化に密接に対応しつつ、複雑な構築物へと進化したさまを理解することができる。	○			◎		

文学部歴史文化学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連					
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	歴史資料の特性や扱い方に関する知識を有し、資料を解読して情報を正しく接合させ、合理的推理に基づいて歴史像を構築することができる。	古代から近代に至る日本の歴史文化の変遷について、正確に理解し、説明することができる。	日本の伝統的な習俗や社会事象について、その起源や意義を理解し、説明することができる。	地域の伝統的文化遺産や歴史的個性を深い敬意を持ち、確かな判断のもとにその保存や活用へ貢献できる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を追求するために自律的・創造的に研究・調査できるための資質を身につけている。
歴史資料と博物館	A5-CAS-201-J	歴史資料の収集、整理保存行為が博物館の調査研究活動と一体の行為として存在することを理解することができる。				◎		○
博物館概論	A5-CAS-202-J	博物館成立に至る歴史過程を通し、博物館学成立の根拠を理解することができる。				◎		○
自然地理学Ⅰ	A5-GGR-201-J	自然環境について、人間活動や生活環境との関係で多面的に捉え、理解を深めることができる。		○				
自然地理学Ⅱ	A5-GGR-301-J	自然環境について、人間活動や生活環境との関係で多面的に捉え、理解を深めることができる。		○				
地誌Ⅰ	A5-HUG-202-J	自然や社会などの条件の異なる多様な国や地域の存在を認識し、相互理解の重要性を理解することができる。		○				
地誌Ⅱ	A5-HUG-301-J	自然や社会などの条件の異なる多様な国や地域の存在を認識し、相互理解の重要性を理解することができる。		○				
有職故実	A5-JPH-304-J	絵巻に描かれた貴族や武家の生活を眺めることで、有職・故実についての理解が深まる。		○				
地域と歴史文化情報	A5-CAS-301-J	博物館からの情報発信・情報活用や博物館への情報提供に関し、その実際とともに基本的な考え方を理解することができる。				◎		○
郷土の文学	A5-JLT-201-J	小栗風葉、清水義範らの作品を読み、愛知県文化や文学の重要性を捉えることができる。				○		
図書の世界	A5-JLT-202-J	和装本の実物にふれ、袋綴本を作ることで、昔の本に慣れ親しむことができる。	○			○		
上代文学を読むⅠ	A5-JLT-301-J	上代文学諸作品を読むことで、上代文学に対する理解が深まる。		○				
上代文学を読むⅡ	A5-JLT-302-J	上代文学諸作品を読むことで、上代文学に対する理解が深まる。		○				
中古文学を読むⅠ	A5-JLT-303-J	中古文学の諸作品を読むことで、中古文学における「虚構」と「歴史」の方法が把握できる。		○				
中古文学を読むⅡ	A5-JLT-304-J	中古文学の諸作品を読むことで、中古文学における「虚構」と「歴史」の方法が把握できる。		○				
中世文学を読むⅠ	A5-JLT-305-J	中世文学諸作品と、他の文芸・文化との関係が分かる。		○				
中世文学を読むⅡ	A5-JLT-306-J	中世文学諸作品と、他の文芸・文化との関係が分かる。		○				
近世文学を読むⅠ	A5-JLT-307-J	近世文学作品を丁寧に読み込む力が身につく。		○				
近世文学を読むⅡ	A5-JLT-308-J	近世文学作品を丁寧に読み込む力が身につく。		○				
近代文学を読むⅠ	A5-JLT-309-J	近代文学の諸作品を読むことで、近代文学についての基本的な知識と研究方法が身につく。		○				
近代文学を読むⅡ	A5-JLT-310-J	近代文学の諸作品を読むことで、近代文学についての基本的な知識と研究方法が身につく。		○				
図書館概論	A5-LIH-101-J	図書館と本について知識を広め、図書館サービスと司書の仕事について理解することができる。				◎		○
図書館情報資源概論	A5-LIH-201-J	多様な図書館資料の形態と特徴が理解できる。また、出版事情に関する知識や資料収集における情報源に留意しながら、図書館資料全体の見方が身につく。				◎		○
書道史Ⅰ	A5-FAH-301-J	中国の文字文化を理解した上で、それが日本にどのように入ってきたのか、どのように変化してきたのか理解できる。				○		
書道史Ⅱ	A5-FAH-401-J	中国の文字文化を理解した上で、それが日本にどのように入ってきたのか、どのように変化してきたのか理解できる。				○		
文字の文化史	A5-LIG-301-J	身の回りにある文字に対し、常に興味関心をもって見る眼と、文字に対する的確な理解が得られる				○		
書道Ⅰ	A5-ASA-101-J	書写能力が向上し、書の表現、鑑賞、理論における美的感覚が養われる。				○		○

文学部歴史文化学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連					
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	歴史資料の特性や扱い方に関する知識を有し、資料を解読して情報を正しく接合させ、合理的推理に基づいて歴史像を構築することができる。	古代から近代に至る日本の歴史文化の変遷について、正確に理解し、説明することができる。	日本の伝統的な習俗や社会事象について、その起源や意義を理解し、説明することができる。	地域の伝統的文化遺産や歴史的個性に深い敬意を持ち、的確な判断のもとにその保存や活用に貢献できる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を追求するために自律的・創造的に研究・調査できるための資質を身につけている。
書道Ⅱ	A5-ASA-201-J	古典を臨書していく中で、さまざまな用筆法・結構法を学習し、多くの書表現ができるような技術や知識が身につく。			○		○	
書道Ⅲ	A5-ASA-301-J	細字仮名の基本学習により、仮名の基礎的な表現が身につく。			○		○	
書論	A5-ASA-302-J	書法・書体に関する概念と芸術論を理解することができる。			○			
書学	A5-ASA-401-J	能書家の書論を理解した上で、実際の作品にどの様にその考え方が活かされているのかが説明できるようになる。			○			
コンピュータ活用技術	A5-SCE-101-J	レポート作成、ゼミの発表及び卒業論文に必要なパソコンの基礎的技術が修得できる。					○	○
コンピュータで学ぶ文章作法	A5-SCE-102-J	大学生活を送るうえで必要な文書作成が、パソコン上でできるようになる。					○	○
コミュニケーション・スキルⅠ	A5-FYE-101-J	対人コミュニケーションの理論を学び、練習し考えることを通してコミュニケーション・スキルの基礎(コツ)が身につく。					◎	○
コミュニケーション・スキルⅡ	A5-FYE-102-J	対人コミュニケーションの理論を学び、練習し考えることを通してコミュニケーション・スキルの基礎(コツ)が身につく。					◎	○
仕事のコミュニケーション	A5-CAE-201-J	あらゆる職業で求められる基本的なコミュニケーション能力の修得および、就業意識を向上することができる。					◎	◎
インターンシップ	A5-CAE-202-J	実際の仕事を体験する中で、社会や経済の仕組みを理解しながら、自らの可能性を確かめることができる。						○
海外留学科目	A5-FLE-201-J	国際体験を通し、実践的な語学力の向上と国際理解力やコミュニケーション能力を得ることができる。						○
短期海外研修	A5-FLE-202-J	実践的な語学力の向上や、国際感覚を身に付けることができる。						○
学芸員課程								
生涯学習概論	A5-CAS-101-J	身近な実践事例等を通して、生涯学習の現状や課題等を認識することができる。						
博物館経営論	A5-CAS-203-J	博物館の管理・運営について体系的に理解し、“博物館経営”という枠組みの中で博物館を考えることができるようになる。						
博物館資料保存論	A5-CAS-302-J	博物館における資料の保存・展示収蔵環境を科学的に捉えて、資料を最適な状態で保存するための基礎的な知識や技術を身につけることができる。						
博物館展示論	A5-CAS-204-J	展示資料の特性・来歴・扱い方を熟知するとともに、展示の基礎的な考え方を身に付けることができる。						
博物館教育論	A5-CAS-205-J	博物館教育活動の在り方について考え、今日の課題を考察・検討できる。						
博物館実習	A5-CAS-303-J	博物館学芸員課程関連科目で学んだ基礎的知識を、実務実習を通して具体的に理解・修得する。						